

# 鬼滅人気 上意東に新名所登場

上意東  
研修センターだより

令和三年二月

169号

上意東公民館  
TEL 52-2870  
FAX 52-2902  
MAIL: hkamiitou.cc@mable.ne.jp

発行責任者  
館長 森廣光彦



必見 真つ二つに割れた巨大な岩

アニメ「鬼滅の刃」が大人気で、大正時代山奥で炭焼きをして暮らす竈炭治郎（かまどたんじろう）は、鬼に一家を皆殺しにされた妹は鬼に殺されてしまいます。炭次郎は、鬼を滅ぼすための「鬼滅隊」に入り、鬼と戦い妹を人間に戻す道を模索するというお話です。炭次郎の剣は、岩をも切り裂くがごとくの威力で、全国

で人気にあやかろうと割れた岩があるところでは話題作や、観光地化がされています。上意東地区でも山口谷の「パワーの木」の岩が真つ二つに割れており、中組の石橋さんが、郵便局に案内のチラシを置いておられます。乗光寺の上を左折し「パワーの木」をめざして進み川沿いに徒歩1分です。

## 「鬼滅の刃」で「コロナ撃退！」

新型コロナウイルス感染症との戦いが始まり一年、幸いにも県内では重症感染者がなく、住民の取り組み姿勢、特に医療関係従事者の努力には大変感謝するところです。

コロナウイルス感染症が一段落する迄は常に感染「しない・させない」

を合言葉に岩をも砕くパワーの木（ケヤキの根）の毎く強い意思で「コロナ退治」を唱え頑張ろう・・・。

※東出雲地区健康まつえ21推進隊長 石橋新三 よりの投稿

（参考）「鬼滅の刃」は京羅木ハイキングコース（山口谷）コースの途中  
案内板あります。おちらと村より車3分又は徒歩15分



この標識から川に沿って約50mです。

左は石橋新三さんの手づくりの看板です。

【みなさんのご意見をお聞かせください】

### 「松江市伝統文化芸術振興計画（案）」にかかる意見募集

誰もが松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かになれるまちの実現に向けて「松江市伝統文化芸術振興計画（案）」を作成しました。市民の皆様からご意見を募り、より実効性の高い計画を策定したいと思っております。幅広くご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

募集期間 2月16日(火)17時まで

閲覧場所 市ホームページ、本庁・支所行政資料コーナー、各公民館

問合せ先 地域振興課(〒690-8540 末次町86)

☎55-5519 FAX55-5665 メール chiiki@city.matsue.lg.jp

ホームページ 松江市 伝統文化芸術計画 意見募集 で検索





つららの素晴らしい光景

# 数年ぶりの寒波到来

予報では、年末から新年にかけて、10年前に匹敵する大雪になるのではないかと心配されています。がそれほどまでではなく、胸をなでおろしました。奥組では積雪約50センチ、軒下の温度計で、マイナス7度でした。二十四節気では、「大寒」で一年で最

も気温が低いころと言われています。豪雪になることなく無事に春を迎えたものです。中組のHさん宅で見つけました。長さ約1・2メートル



## 連載

### ツグミなども最も身近な渡り鳥

#### 第38回 ツグミなど野鳥が少ないのが心配

今冬、渡り鳥の姿が少ないことにお気づきでしょうか。なかなか見当たりません。ツグミは全長24センチ、日本には全国に冬鳥として渡来し、田んぼや畑、草地などにすんでいます。10月ごろ、シベリアから大群で渡ってくる冬鳥の代表です。日本へ着くと群れを解きます。

3月ごろになると再び群れて北へ帰ります。その時期になると高庭から中意東にかけて再び群れとなり渡りに備えます。木や草の実を好んで食べます。また、地面において



枯葉の下の虫をさがします。柿の実や、ハゼの実が大好物です。雪が深くなると民家の庭の万両や千両、南天なども食します。冬鳥なので、日本ではさえずりをしません。そこで冬には口をつぐんでいて、それでツグミと呼ばれるようになったといわれています。

(水野正美さん)

## 市穂神社の狛犬が、奉納200年を迎える

### 親しみやすい表情が、中世のいやしの秀作

市穂神社は、奥組に鎮座する古い歴史を持つ社です。

出雲国風土記(713年)に市穂の社として記載されており、千数百年変わらぬ祭祀が行われてきました。

厳島神社に見られる両部鳥居をくぐると、亀の灯籠と狛犬が参詣者を迎えます。

丸い台座に乗った一對の座型狛犬は1820年(文政3年)3月辰年の寄進で今年200年を迎えます。阿吽(あうん)の表情は、厳しさがなく温かな表情が特徴的です。

コロナ禍の影響で奉祝祭はできませんでしたが、市穂神社は、奥組に鎮座する古い歴史を持つ社です。出雲国風土記(713年)に市穂の社として記載されており、千数百年変わらぬ祭祀が行われてきました。厳島神社に見られる両部鳥居をくぐると、亀の灯籠と狛犬が参詣者を迎えます。丸い台座に乗った一對の座型狛犬は1820年(文政3年)3月辰年の寄進で今年200年を迎えます。阿吽(あうん)の表情は、厳しさがなく温かな表情が特徴的です。コロナ禍の影響で奉祝祭はできませんでしたが、

たが、しかるべき時に記念の催しが計画されています。寄進された時の様子や書物は残っていませんが、台座に刻まれた文字より由来をはかり知ることができそうです。寄進の年月はもとより「川本大明神」と記載されており、今でも「川本さん」と丁重に祀られています。残念ながら作者の記載は確認できませんが、来待で採石され松江の工房で作られたことは確かです。雪化粧をした狛犬はとても風情があります。この狛犬に会いに参拝されてはいかがでしょうか。



本谷奥組にある市穂神社境内に鎮座します。



石段の上に向かい合っています。石段は滑りやすいので注意してください。

左 対になった市穂神社の狛犬

## 行事予定表

2月

13日(土)

ストップ! 詐欺被害私  
は騙されない!

東出雲ふれあい会館

開演10時~11時40分

松江市消費者問題研究  
会

集落や各種団体の行事  
を公民館までお知らせくだ  
さい (毎週20日まで)

